

機械器具 32 医療用吸引器／一般的名称：電動式可搬型吸引器（JMDN コード：36616030）

販売名：アキュバック・レスキュー

管理医療機器

【警告】

- 1 適応対象
緊急時における口腔内の異物・吐物・分泌物の吸引を行う物。
気道・気管支からの吸引は行わないこと。
手術など長時間の吸引には適さない。
- 2 併用医療用具
使用時の不具合を想定し、別途手動式の吸引器など準備すること。
- 3 使用前に駆動源であるバッテリーの残量を確認すること。

【禁忌・禁止】

- 1 医師及び医師の指示を受けた看護師、救急救命士のみが使用可能。
- 2 使用の際は滅菌された吸引カテーテルを使用すること。ディスクの吸引カテーテルの再使用は厳禁のこと。
- 3 火気及び爆発の危険がある場合での使用はしないこと。
- 4 MRI 室では使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】※※

＜形状＞



1. 各部名称
① 本体
② 吸引ボトルカバー
③ 吸引ボトル
④ 吸引チューブ収納プレート
⑤ アクセサリーバック
★その他：ウォールブラケット 1 枚
DC12V 充電コード 1 本
2. 寸法及び重量
370×280×140mm
約 5.1kg
3. バッテリー
DC12V NiCD バッテリー
充電時間：約 2 時間（最長）
電池寿命：約 3 年又は充電回数約 400 回
4. キャニスター
900ml リューザブル

＜機器の分類＞

1. 電撃に対する保護の形式：クラス II
2. 電撃に対する保護の程度：BF 型機器
3. 防水保護の程度：IPX1

＜電気的定格＞
DC12V±10%

＜電気的安全性＞
JISTO601-1-2（2002）適応

＜作動・動作原理＞
内部バッテリー（又は DC12V 電源）で真空ポンプを作動させ陰圧を発生させる。その延長回路上に吐物等を溜める吸引ボトル及び吸引チューブが接続され吸引を可能にするもの。人体からの吸引は用途に合った滅菌済み吸引カテーテルを使用する。吸引圧の調整は操作パネルのボタンで行い、ポンプの回転数で行う。

【使用目的又は効果】

電動式で液体又は粒状物質の吸引等の治療に用いる陰圧を発生させる装置。

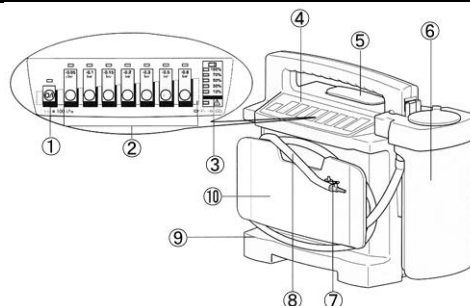
＜効果＞

吸引圧：-0.05/-0.1/-0.15/-0.2/-0.3/-0.5/-0.8bar
吸引力：20L/分以上
最大吸引圧力：-0.8bar（-80kpa/-600mmHg）
作動時間：約 45 分（-0.8bar・フル充電時）

＜圧設定における注意＞

患者の状態に合わせて適切な圧を設定して下さい。場合によっては患者の口内を傷める可能性があります。

【使用方法等】



＜使用前操作＞

- ・電源スイッチ①を押すと吸引を開始します。この時最後に使用した吸引圧を記憶しています。
- ・吸引圧設定ボタン②（操作部④）で状況に応じた吸引圧を設定します。
- ・バッテリー残量表示③にバッテリーの残圧（%）が表示されます。

＜使用中の操作＞

- ・吸引カテーテル⑧の先端のフィンガーチップ⑦に状況に応じたサイズの吸引カテーテル（口腔内用）を接続します。尚、吸引圧の微調整もフィンガーチップ⑦で行うことが可能です。
- ・本器の取り外しはリリースレバー⑤を押しながら全体を上スライドさせながら行います。
※使用時は本体を必ず直立させた状態でご使用ください。
吸引物質が本体内部に流れ込む恐れがあります。
- ・吸引ボトルの所定の容量を超えて使用しないこと。

＜使用後の操作＞

- ・本器の取り外しはリリースレバー⑤を押しながら全体を上スライドさせながら行います。
- ・カテーテル収納プレート⑩は取り外しが可能ですので、汚れた場合は本体⑨を含め、中性洗剤などを含ませたタオルで清拭してください。

その他詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- ・使用後は、ディスポ吸引カテーテルは廃棄（自治体により異なる）し、吸引チューブ⑧及び吸引ボトル⑥の消毒を行ってください。尚、吸引物は感染物として処理してください。

＜組立て後の機能テスト＞

吸引物を廃棄後には必ずキャニスターの組立を行い密閉度の確認を行うこと。この時、同パッキンの紛失に注意すること。

＜充電＞

使用後は、車両等の電源（DC12V）に接続し充電を行うこと。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

本器の故障を予想し、代替の吸引器を準備すること。

＜充電時の注意事項＞※

バッテリー保護機能により、外気温が+5℃以下の環境に長時間放置されていた場合充電が行われない場合があります。本器が+5℃以上になってから充電を開始すること。

＜その他の注意＞

1. 使用の制限

医師及び医師の指示を受けた看護師・救急救命士で本器の使用方法を熟知した方のみ使用可能。

2. 本器を設置する時は、次の事項に注意すること。

- (ア) 水の掛からない場所に設置する。
- (イ) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分等を含んだ空気により、悪影響を生ずる恐れのない場所に設置する。
- (ウ) 傾斜、振動、衝撃（搬送時）等は与えないこと。
- (エ) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所には保管しないこと。

3. 本器を使用する前には、次の事項に注意すること。

- (ア) 各部の固定状況、スイッチ状況、破損等の点検を行い、正確に作動することを確認すること。
- (イ) 本器回路が完全に接続されているか確認すること。
- (ウ) 他の計測器の併用は、正確な判断を誤り、危険を起こすことが考えられるので十分に注意すること。
- (エ) バッテリーの残量に注意すること。
- (オ) バクテリアフィルターが極端に湿っている状態での使用はしないこと。吸引圧が上がらない場合がある※。

4. 本器の使用後は次の事項に注意すること。

- (ア) 決められた手順により操作スイッチ等を使用前に戻す。
- (イ) コード類の取り外しは無理な力を掛けないこと。
- (ウ) 保管場所の注意
 - ① 水が掛からない場所
 - ② 常温・常湿で直射日光が当たらない場所
 - ③ 振動や衝撃を受けない場所
 - ④ 化学薬品の保管場所お近くやガスの発生しない場所
- (エ) 本器を次の使用に支障の無いように準備すること。

5. 故障と思われる場合は、すぐに販売店あるいは当社まで連絡すること。

6. 本器を改造は厳禁である。

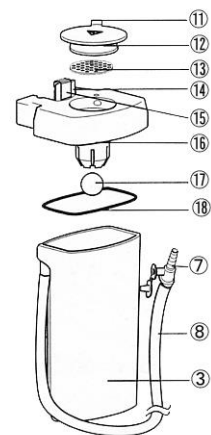
7. 保守点検

- (ア) 必ず定期点検を受けること。
- (イ) 長期間使用しなかった場合は、使用前に必ず正常に作動するか確認すること。
- (ウ) バッテリーの残量に注意すること。

8. 消毒方法

- (ア) 患者装着部及び吸引ボトルは適切に洗浄後必ずガス滅菌すること。
- (イ) 患者装着部は必ずガス滅菌すること。
- (ウ) 消毒後の組み立ては正確に実施し、動作確認をおこなうこと。

9. 吸引ボトルの構成部品



- ⑪ ベントタブ
- ⑫ フィルターカバー
- ⑬ バクテリアフィルター
- ⑭ ロックタブ
- ⑮ ブロッキングクリップ
- ⑯ 吸引ボトルカバー
- ⑰ シールボール（逆止弁）
- ⑱ シールリング

- ・再組み立て時には上図を参照し正確に組み立て、正常に作動することを確認してから使用すること。
- ・バクテリアフィルターの装着向きに注意すること。
- ・その他「操作方法又は使用方法」「一般的注意事項」は、取扱説明書参照のこと。

【保管方法及び有効期間等】

＜使用条件＞

常温・常湿

＜保管温度＞

常温・常湿

【保守・点検に係る事項】※

業者による保守点検※

本器は製造元或いは製造元が指定した業者により以下のスケジュールで保守サービスを受ける必要がある。

- ① 1 年毎の簡易点検
- ② 3 年毎の保守点検

耐用年数：4 年（原価償却期間/救急医療機器）

耐用期間：設定無し。但し、定期点検（1 回/3 年）を行った場合に限る。

【主要文献及び文献請求先】

株式会社ワコー商事（下記参照）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

「製造販売業者の名称及び住所」



株式会社

ワコー商事

WAKO SHOJI CO., LTD.

〒251-0871 神奈川県藤沢市善行 7-3-5

TEL.0466-84-2485/FAX.0466-84-2484

e-mail info@wako-shoji.com

URL http://www.wako-shoji.com/

「製造業者の名称」※

製造先国名：ドイツ

製造会社名：Weinmann Emergency Medical Technology GmbH & Co.KG

その他詳細は、取扱説明書をご参照ください。